

- 1 会議名 厚生・文教常任委員会協議会
- 2 日時 令和4年6月8日(水)
午前10時18分から午前10時50分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席委員 (委員長) 谷平敬子 (副委員長) 須藤智子
(委員) 片岡健一郎、宮川隆、関戸郁文、堀 巖、木村冬樹
欠席委員 なし
- 5 説明員 教育こども未来部長 長谷川忍、子育て支援課長 西井上剛、同指導保育士 野田克枝、同保育グループ主幹 佐久間喜代彦
- 6 事務局出席 議会事務局長 丹羽至、同統括主査 寺澤顕
- 7 委員長挨拶
- 8 報告事項

(1) 請願の処理経過及び結果の報告について (令和3年)

・岩倉のすべての子どもたちが心身ともに健やかに成長できる環境をもとめる
請願書

【報告】

子育て支援課長：令和3年9月議会からの経過と現状について。この請願審議で、就学訓練の場として考え、障害要件を保育要件にしてほしいとの内容に対して、保護者の労働等により家庭で必要な保育を受けることが困難な場合であることがあくまでも保育要件であることから、少し考え方に相違があるとの話をした。障害児保育という点において現状は定員等に余裕があるわけではない中で、医療的ケア児の受け入れ態勢を整えることを最優先課題として捉えていると当局としての意見を述べ、趣旨採択を受けた結果である。現状、保育要件に関して変更点は設けていない。障害児医療、医療的ケア児においては令和3年度中から看護師、医療機関等と調整を重ね、看護師等を配置し、令和4年4月から医療的ケア児の受け入れを1園で実施している。

【質疑】

木村委員：事実経過はわかったが、入園基準の緩和についての検討はあったか。

子育て支援課長：保育ではなく訓練の場としての拡大は今のところ考えていない。

木村委員：保護者とのやり取りから、保護者から就労要件の緩和の話があったか。

また、現時点で対象となる児童がどれくらいいるかわかるか。

子育て支援課長：具体的な対象者の数は不明だが、内職の就労要件で障害者手帳を持っている方はいる。就労していなくて入れていない方の人数は分からない。意見があったかについては、保育園父母の会の要望書に支援児父母の会

からのものがあり、障害を要件にしてほしいという要望があるのは事実。

堀委員：令和3年9月議会の際、就労していなくても受け入れている他市の事例が紹介されたが、その後、他市の調査は行ったか。

子育て支援課長：以後の調査は行っていない。障害を理由に入園できている自治体でも、定員に余裕のある園に配置するということであった。本市においては待機児童が出るぎりぎりのところであり、保育要件での定員確保に重きを置いている。

堀委員：定員に余裕があるかないかというのと、保育要件と訓練の場というのは次元が違う話。受け入れている自治体の柔軟な考え方を、もう一回9月議会で再確認したい。

保育グループ長：昨年9月に他市に確認したが、仕組みとしてはあるが、個別に保育の必要性を詳細に調査して行っており、障害があることのみで一律に入園できているわけではない。保育園は、第一義的に保護者に代わって保育を実施する施設であるので、療育の機能を主たるものとしてはいない。保育所としての機能を第1に考えると、施設的に余裕があればそのようなことも考えていくという順序になるものと考えている。

(2) その他

教育子ども未来部長：10月2日予定の市民体育祭であるが中止とし、同日に他の催しを実施したい。テントでの応援状況など密状態が厳しいと思われるため、体育祭実行委員会の判断であるが、別の形の行事をスポーツ協会やスポーツ推進委員会で検討していく。各区長には文書で連絡していくが、まずはSNSなどで公表する。広報いわくら7月号で周知を図る。全員協議会でも報告したい。

【質疑】

なし

9 協議事項

(1) 行政調査について

谷平委員長：常任委員会の視察であるが各委員の意見を伺いたい。

宮川委員：委員長の指針を示してほしい。オンラインも視野に入れているのか。

谷平委員長：少しずつ前に進めたいと思う。現地に行くか行かないかを決めたい。

宮川委員：オンラインが無難ではないか。まずはテーマだと思う。

片岡委員：行けるなら行った方が良い。まずはテーマを募集し、委員長でとりまとめてもらう。先方には行くことを前提に、状況によりオンラインでも可能かを確認する。

(異議なし)

谷平委員長：日程は10月25日～27日又は11月7日～9日を予定。テーマについては、17日までに委員長か事務局に申し出てほしい。

(2) その他

なし

10 その他

なし